

本町小だより

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-honchou/>

1月号 令和8年1月8日
西東京市立本町小学校
校長 高橋 浩一
TEL 042-467-5956

本町小スポーツの日アンケート回答

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。さて昨年行われた本町小スポーツの日の保護者アンケートでは多くのご意見をいただきました。すべてのご意見を確認し、ご要望と思われるところを集約いたしまして、本校の実態をふまえた次年度の指針を回答として以下の通り、お示しいたします。保護者の皆様におかれましては、すべてが納得いくものではないとお感じになるかと思いますが、児童や本校の実態、学習としての意義、教職員の働き方改革の観点からご理解を賜りたいと存じます。よろしくお願いいたします。



団体競技復活について

Q1 組体操や大太鼓、応援団など、私たち保護者世代が経験してきた運動会とは少し異なっているように感じました。学習指導の方針の変化もあるかと思いますが、こうした活動を通して培われるチームワークや協調性はとても大切だと考えております。今後、そうした団体で取り組むプログラムがさらに増えていくことを期待しております。

半日と言う短い時間の中で、もし来年度以降実施可能であれば、綱引きや玉入れと言った運動会定番競技も見たかったなあと思います。

高学年のリレーだけでなく、低学年や中学年も、玉入れや綱引き等もうひと種目あってもよいのかなと思いました。

今後も対抗式で、玉入れや綱引きなどもあったらより楽しめそうだなと思いました。

各学年徒競走と表現種目の2種目参加で高学年はプラスで選抜リレーの参加というプログラムでしたが、個人の走力に頼るものだけなのでもう少し友達と協力するような低中高の実態に合わせた学生種目(台風の目やムカデ競争のようなもの)が加わると良いなと感じました。練習やプログラムの時間的に難しいというのであれば、練習や労力に一番時間がかかるであろう表現種目の時間をもっと短くしても良いと思います。

A 次年度も今年度と同様のプログラムで赤白に分かれて対抗式にします。それ以上の団体競技、応援団などの追加は考えておりません。

本校HP スクールライフ 学校だより 令和6年度 1月号 Q23のAをご参照ください。

短距離走について

Q2 一年生の徒競走ではゴールテープが足のあたりにあり、ゴールをする時に手を離さない場面があったので、少し危険に思いました。途中で改善され、迅速な対応に安心いたしました。
短距離走で、テープに引っ掛かり、転んで怪我をしてしまったので(すぐに校長先生の声掛けがあり改善されました)安全に競技が進むように、来年は事前の指導を徹底してもらえればと思います。

1 年生の徒競走でゴールテープの位置が脛の辺りの高さになっていて危ないと感じました。

短距離走に関しては、娘の時は2人しか走る生徒がおらず(予定生徒さんの怪我とのことですが)競争というより独走でしたので、そこに関しては人数が少ないのであればレーンを撮影しやすい外側に変更していただくなり、4人走るところを調整してこちらを3人にして頂くとよかったかもしれません。

短距離走のゴールの先にあった三角コーンにつまずく場面があったので、ゴールの先ではなくトラック内にあったらと思いました。

低学年の短距離走もカーブを走ると見ている方も迫力が伝わるかなと思ったのと、中学年の短距離走はゴールの位置を高学年と一緒にして、スタートの場所をずらした方が保護者としては見やすいと感じたが、先生方の負担が増えるのであれば、無理して変える必要もないです！

A 審判係児童に対して、走者の腰の高さでゴールテープを持ち、走者がゴールしたと同時にゴールテープを放すという指導を徹底して参ります。

当日の欠席で、2人しか走る児童がいなかったことが発生しても、そのレースに参加している児童のメンバー変更、レーン変更はいたしません。練習の段階で児童にレース番号とレーンを間違わないように指導をしています。急な変更は児童に混乱を与えてしまうからです。ただし1人で走ることになった際は、競争するといった短距離走の運動特性がなくなってしまうので、他のレース(3人で走るレース)に入れて競技を行うといった工夫をしたいと考えます。

三角コーンをゴールの先ではなくトラック内に置くことで、三角コーンにつまずくことがなくなるのご指摘ですが、正直なところ、そのイメージがわかりません。三角コーンをゴールの先に置いたのは、走者がゴールで止まってしまうのではなくゴールを駆け抜ける、かつ審判係の児童が迎えに行く際、迷わずにゴールした児童にたどり着き着順の間違いを防ぐといった二つの目的があります。よって走者の児童には、三角コーンの手前では減速し、片手で三角コーンに触れる指導を徹底し、つまずかないようにしていきます。

低学年の短距離走でカーブを走ることはいいたしません。現状、直線を走ることさえ、隣のレーンの線を踏み越えてしまうことがあります。練習で指導した結果、何とか直線では隣のレーンの線を踏み越えなくなっている状況です。スタートの場所をずらすのは、校庭のマーキングが煩雑になってしまうので行いません。

表現について

Q3 あえての難を申し上げますと、ダンス後の決めポーズ？（写真撮影）がどこなのかがわからずに撮りあぐねてしまいました。※写真屋さんのデータ購入を期待しておりますが、本日は1人だったようなので撮られていない可能性もあります。

1・2年生と5、6年生の表現の決めポーズとっても可愛かったのでぜひ来年は全学年で採用していただきたいです！

高学年のダンスで最後にポーズをとるのはすごく良いと思いましたが保護者が集中してしまいなかなか撮影ができない事もあるかと感じました。2箇所で開催していたのを4箇所などに増やしていただけると幸いです。

A まず表現運動での決めポーズは、学年による練習の進具合によっては、組みこめないことがあること、またその演技構成から、決めポーズを行わないことがあることをご理解ください。決めポーズを行うとしても、決めポーズの実施箇所やその数については、指導する学年の判断によることもご理解ください。決めポーズを行う場合は、学年からのお知らせで、その実施箇所をお知らせできるよう善処しますが、表現運動の仕上がりが本番直前になった場合などはお知らせできない場合がございます。写真屋に関しては、毎年スポーツの日に撮影はしていますが、卒業アルバムのためであり、写真販売はいたしておりません。

Q4 ダンスとても頑張っていました、移動が無さすぎてずっと同じ雰囲気でもう少し5・6年生らしいレベルの高い創作ダンスを見たかったです。

最近ヨサコイソーランを見られなくなったのが寂しいです。四年生の娘達は、兄達が取り組んできたのを見て憧れを抱いていました。来年度、高学年で復活してもらえたら嬉しいです。

御神楽が一体感が生まれて感動しましたが、その反面、同じ動き、腰の低さ、目が回りそうな回転の連続で、少し可哀想にも見えました。子供達とても頑張ったと思います。来年はソーラン節が見たいです。

ソーラン節、来年希望します。

A 隊形移動に関しては、ダイナミックに行くと、お子様を(ビデオ)撮影で追うのが大変という意見をいただいたり、今回のように移動が無さすぎてずっと同じ雰囲気という意見をいただいたり、正直なところ頭を悩ませてしまいます。また創作ダンスのレベルが低い、御神楽の動きが少し可哀想にも見えたなどの、表現運動そのもののご批判に関しても、保護者の方のご感想として受け止めますし、ヨサコイソーラン、ソーラン節を希望するといったリクエストもお気持ちは分かります。しかし、ここで申し上げたいのは、保護者の方の気持ちや思いを無下にすることは思いませんが、それよりも、児童の実態や発達段階に合わせて演目を決めたり、指導したいすることを最優先にしたいということです。保護者の方で、何かのショーを観に来る感覚をおもちでいらっしゃるのであれば、学校はそれに応える能力は持ち合わせていないということを明言いたします。

リレーについて

Q5 低学年、中学年のリレーも見たいです。リレーは高学年を中心に全員参加が良いと思います。

A 低学年、中学年のリレーを増やすといったプログラムを増やすこと、また全員参加のリレーは時間の関係上、行いません。

大玉送りについて

Q6 大玉の時の子どもの位置も、お手紙でお知らせしていただけたら助かります。

大玉転がしは子どもから説明受けたものの、何をやるか全くわからずでしたが、応援はできました。

最後の大玉送りも面白かったので、引き分けで終わらずもう1回やってほしかったと感じました。

引き分けで終わってしまったことが中途半端に感じました。時間の都合もあると思いますが、もう1戦して勝敗を決めてあげてもよかったのではないかと思います。

大玉転がしでは娘が競技中に顔をひっかかれてしまうといったことがありました。わざとではないし、競技をする上で怪我もつきものだと思います。しかし爪が伸びていたようでしたので今後は前日に爪を切ってくるよう声かけをするなどの配慮も必要なのかな、と思いました。(爪を切ってくるということは先生方が声をかけなくても当たり前のことなのですが。なかなか全体みんなが意識することは難しいようです。) 顔に跡が残ってしまいそうだったので、書かせていただきました。もちろん競技をなくしてほしい、という意見ではありません。

A 大玉送りの赤白や学年配置はお手紙でお知らせしています。表現運動のように学年だよりなどで、ピンポイントでお子さんの位置をお知らせすることはできません。当日もその配置が学級や学年の欠席状況によってずれることがあるからです。

大玉送りの競技内容やルールを事前に、保護者へお伝えする説明責任はないと考えます。当日の様子を見れば、お分かりになると思います。

次年度からは、2回戦目まで引き分けになった場合は、3回戦行い、勝敗の決着をつけます。

大玉送りに限らず、爪を切ることは体育的行事(水泳授業なども含む)ごとに、指導していきます。ご家庭でも、この事例をもとにお子様への指導、管理をお願いします。

応援について

Q7 応援の仕方が分かっておらず、他の学年の競技の際が少し寂しかったので、応援団は大変でなくなるのは時代の流れかと思いますがもう少し応援方法に工夫があっても良かったかなと思います。

希望を言うならさらに楽しめるように応援団も復活してほしいです！

ダンスと走る以外に、応援合戦とかあると楽しいかな、と感じました。

今後、応援団はないのでしょうか？あると子供達ももっと団結力がでて頑張れそうなきがしました。

- A** 今年度は、赤白対抗式にして、自然発生的な応援が出てくるようにいたしました。さらに応援での工夫をとると、結論的に応援団の結成や指導となりますが、そこまでは考えておりません。
本校 HP スクールライフ 学校だより 令和6年度 1月号 Q23 の A をご参照ください。

体育館（トイレ 舞台）について

- Q8 トイレが「履物のまま」と体育館の入り口には書いてあったが、スリッパも用意されていて、結局どちらなのかよく分からなかった。

体育館の舞台の上で未就学児たちが走り回り、カーテンを開けていました。授乳・オムツ替えスペースだから登らないよ。と声をかけましたが…… 事前に配布されたプリントに記載して頂いていますが、残念ながら行き渡っていないようです。

落ちてケガをしてはいけけないので、舞台にあがる階段を外す。「のぼらないでね」とひらがなの貼り紙を貼る。など、ご検討頂ければ幸いです。

- A** 体育館トイレは養生シートのシートの部分は土足で構いませんが、トイレの中は泥や砂の汚れを防ぐためにスリッパに履き替えていただくことになります。「トイレの中はスリッパに履き替えてください」という表示を設置していませんでしたが、次年度からは、履き替えていただくための表示を設置します。

舞台にあがる階段を外し、かつ舞台には「のぼらないでね」とひらがなの貼り紙を貼るようにします。

椅子の使用について

- Q9 端の方の観覧の妨げにならない場所ではシートや、椅子の使用が認められたらと思いました。

- A** これを容認すると、どこまでが端の方の観覧の妨げにならない場所なのか不明瞭、またこの場所は観覧の妨げにならない場所のはずだといったクレームが増えると考えます。また学校が事前に場所を指定したとしても、そこに人がごった返し、運営に大きな支障をきたすと考えます。体育館を休憩スペースとして開放していますので、そちらをご利用ください。

昼食 午後開催について

- Q10 お弁当を子供と食べられないのは寂しいと感じましたが設備や学校側の事情、色々な観点からのご判断になるかと思います。せめて生徒たちだけでもシートを敷くなどして自分の仲良しな友だちとお弁当を囲む時間があるともっと楽しめるのかなと思いました。

お弁当を家族みんなで食べるのが運動会の醍醐味なので、もう少しプログラムが増えてお昼を挟んで午後の部もやれたらいいなと思いました。

お弁当は無しで、終わり次第子どもを帰宅させてほしい。

- A** 今年度は、教室にてグループでお弁当を食べました。ここで留意していただきたいのは仲良しな友達という概念です。仲間はずれがなく、すべての児童が納得した形で弁当の時間を過ごせれば、よいのですが、そうではない状況が発生する学級の場合は、機械的にグループ編成することがあります。

また保護者と一緒にお弁当を食べる時間は設けません。お弁当は無しで終わり次第子どもを帰宅させてほしいということでしたら、事前に担任にお申し出いただき、保護者の方と一緒に早退しても構いません。

本校 HP スクールライフ 学校だより 令和6年度 1月号 Q7 Q8 の A をご参照ください。

プログラム構成について

Q11 低学年の待ち時間が長くて飽きてしまったので、来年は順番も変えてもいいかな。と思いました。

A プログラム構成に関しては、他学年とのバランスも考慮して検討してみます。

カメラマンについて

Q12 カメラマンさんがしゃがんで撮影する配慮がほしかったです。撮影の妨害になっていました。

カメラマンの方が競技の様子などを写真撮影していましたが、写真の販売はあるのでしょうか？
どうしても遠くからしか子供の様子が見られないため、近くから子供の表情などを撮影している写真の販売があると有難いなと思いました。

A カメラマンさんは立ってはいいたものの、同じ位置に留まることはなかったと思うのですが。しゃがんで必ず撮影というわけにはいきませんので、ご了承ください。

他校との関係もありますので、本町小スポーツの日における写真販売は、できません。

音響について

Q13 本人から聞いて気になったことが、表現運動の時に、音響の目の前に移動した際音量が凄まじく大きかったため耳がとても痛くなりその間の時間がとても苦痛だったとの感想があったため、音量の調整が難しいとは思いますが来年以降音響関係に配慮していただけると助かります。

ダンスの音響が、正門側のグラウンドだと聞きにくかったです。

A 音響に関して前日のリハーサルでは、本番と違うポータブルのアンプを使用しました。そのリハーサル時に、音響の目の前に児童が移動した際、音量が大きく耳を痛めたと思われます。次年度はリハーサル時のアンプの位置に気を付けて、このようなことが起こらないようにいたします。

また、ダンスの音響が、正門側のグラウンドだと聞きにくかったとのことでしたが、スピーカーの設置箇所やその向きに関しては、変更が難しいです。児童の演技に支障が出ないよう、また参観している保護者にもなるべく聞こえる音量でと考えています。

紅白戦 得点制について

Q14 紅白戦・点数制になったことについては特にわが子はスポーツの日への参加意欲の変化は感じず昨年までと変わらず楽しく参加していたように感じました。ただ、クラスの友達と点数を競い合う関係になってしまうことに少し寂しさを感じたようでした。

A 本校は、学年によって学級数にばらつきがございます。どの学年も 2 クラス、3クラスでしたら、学級対抗(2クラスですと1組は赤・2組は白、3クラスですと1組は赤・2組は白・青)にできるのですが、現状ですとできませんので、学級を2分して赤白に分かれる形になってしまいます。

開催や練習の在り方 リボン 参観方法 防犯について

Q15 本町小スポーツの日に限った事ではなく、日本の何処の公立小でもどんな時代でも言える事かもしれないが、行事の有る月に入ってから練習が毎日有り、うちの子は特にスタミナが無く疲れ果ててしまい、持病の咳に悩まされてしまう。例えば、1 学期の終わり頃から少しずつ、ダンスの練習や全学年揃ってのイメージトレーニングの様な物を体育の時間等を使って出来ないものでしょうか？無理のない練習を早目の備えと少しずつの練習によって土壇場での練習数を少なく出来ないものかと何十年も感じています。(自分の子供達の代と孫の代と)

本番の1週間ほど前から練習時間が長くなり下校時刻が遅くなったことで、体力的にも少し負担が大きかったように思います。練習中には、先生方も熱心に指導されていたと思いますが、感情的な声かけや学年同士を比較するような言葉かけがあり、子どもがプレッシャーを感じていた場面もあったようです。無事に終わって本当によかったと思う一方で、練習の期間も含めて、子どもたちがより安心してのびのびと取り組める内容になると、さらに素敵なスポーツの日になるのではと感じました。

練習期間中、指導される一部の先生の当たりが強かったと聞いています。

A 1 学期の終わり頃から少しずつ、ダンスの練習や全学年揃ってのイメージトレーニングはできません。教育活動には、学校側(教員の教材研究)の準備というものが必要になります。1 学期の終わり頃から練習スタートとなると、水泳指導、成績処理などと重なりながら、表現運動指導の準備が必要となってしまいます。また、児童にとっても、ダンスを習得するのに長いスパンを要することになり、逆に効率が悪いと考えます。本校の大勢の児童にとって、今回行われている練習計画に無理があるとは判断していませんが、お子様の中で、難しいことがある場合は、1 日2時間ある練習のうち1時間は見学し、1時間は体を動かすなどの個別対応は可能ですので、次年度からは担任までご相談ください。

本番の1週間ほど前から練習時間が長くなり下校時刻が遅くなったことで、体力的にも少し負担が大きかったとのことでしたが、ご意見はごもっともでございます。ただし、理解していただきたいのは、教員側のわらい、思いです。演技の完成度を高めて、児童により大きな達成感を味わわせたい、保護者の方々も認めてくれる隊形配置にしたい、などといったわらい、思いがあるということは、分かっていると思います。感情的な声掛けや学年同士を比較するような言葉掛け、一部の先生の子供たちへの当たりが強いというのも、事実かと思しますので、精神的に辛い思いをさせたことは、率直にお詫びいたします。でも、本校の教員は、それだけに終わらず、子供たちへ温かい賞賛の言葉を掛けていないでしょうか。精神的にも身体的にも成長させる指導はしていないでしょうか。

Q16 来賓席、祖父母の設置はあの場所で良いのでしょうか？

スポーツの日を公開する意図は保護者に見てもらう事だと思います。来賓や祖父母が保護者より良い場所で見られるのはスポーツの日を公開する意図と反してはいませんか？

A 次年度も、来賓席、フライオリティーシートの設置場所を変えません。ご意見にあった祖父母の設置というのは、フライオリティーシートのテントのことを指していると思います。このフライオリティーシートは高齢者、お身体の不自由な方、妊娠されている方などが利用するものとなっており、祖父母に限定したものではありません。保護者も座る可能性があるという前提になっています。そしてフライオリティーシートは短距離走のゴール前に設置しています。ゴール前だからこそフライオリティーシートをそこに設置しています。フライオリティーシートを必要としない保護者の方には、ゴール正面を当該学年優先参観場所としていますので、お子様と関係のあるすべての保護者や親族の方にゴール付近で参観する機会を平等にしていると考えています。

来賓席の最前列には校長が座っています。校長が果たす役割としては、全種目が円滑に行われているか見届け、不具合があれば、それを解決する判断をして、組織的に対応させることと、来賓を接待することの二つがあります。以上の役割を果たすためにも校庭の中で一番見届けやすい場所に来賓席を設置しています。

本校 HP スクールライフ 学校だより 令和6年度 1月号 Q36のA をご参照ください。

Q17 スポーツが苦手な子どもにとって辛い行事ではありませんか？

普段のクラスメイトしかいない授業でしたら好き嫌い・得意不得意は授業ですので仕方ありませんが、スポーツの日は公開され多くの方が観にきます。

例えば、合唱コンクール・学校祭などある程度自分のしたい事や得意なことを選んで参加できると思います。スポーツの日も運動が苦手な子どもが辛い想いをしないような方法があると良いのかなと思いました。強いて言うとも昔の運動会のような感じですかね。

A 児童にとって好きだから嫌いだから、得意だから苦手だからで行事の有無を判断しません。学習指導要領に則り、児童に身に付けさせる資質・能力を考え、教育活動や行事を行っています。特に行事に関しては、公開され多くの方が観にきますので、ある児童にとっては恥ずかしい、不安などのフラッシュャーを感じるかもしれません。だからと言って学習指導要領に例示されていない昔の運動会のような競技(私はご意見にあった昔の運動会のような競技とは、借り物競争やパン食い競争などの偶然性で勝敗が決まる競技のことを指していると思えた)は行うつもりはありません。

例えとして「合唱コンクール・学校祭など、ある程度自分のしたい事や得意なことを選んで参加できる」とお示ししてくださったことについてですが、合唱コンクール・学校祭は中学校や高校の行事なので小学校ではあまり行われていませんし、また合唱コンクール・学校祭は文化的行事なので、例えとしての参考にはならないと思います。子供がスポーツの日の競技を選択して参加できるようにさせては、という趣旨で、お示ししてくださったとしても、短距離走、表現運動は学習指導要領に則っていますので、どちらかという選択にはなりません。公開されることにどうしても抵抗を感じるのであれば、保護者の判断を尊重し、当日のその競技に参加しないことを認めますので、担任にお申し出ください。

Q18 競技前にその学年のリボンの色のお知らせがありました但放送が聞こえ辛い時があったので、学年のリボンの色もプリントで事前に知らせて頂けると観覧する際互いに気遣えて良いと思いました。

A お便りで学年のリボンの色をお知らせしています。

- Q19 3・4年生の踊りが始まる前、朝礼台側の一番見やすい場所にずっと立っている方(ピンクと黄色リボンどっちも付けてる方)が2名いて、2競技前ぐらいから立っていたようで、4年生の競技ではないときからずっと陣取っていて非常に迷惑でした。
上記のように常識のない親御さんがいるので、今後このようなことがないように、優先(撮影)エリアについて競技が始まる前後にアナウンスをしてほしい。

防犯対策以外の意味で学年別にリボンを付けていると思いますが、前もって一番見やすい位置を陣取ったりする人がいるとリボンの意味を果たしていないように感じた。

前に背の高い人が立ってしまうと、後ろの人が見えないため、背の高い人は後ろに行ったり、前の人は後ろの人に気遣って中腰になったりするなど、もっと全体的に親同士で配慮をするべき。

徒競走の際、係の仕事でぎりぎりにゴール付近に行きました。明らかに違う色のリボンを付けた背の高い方がいて、見つらかったです。先生方は本当にお忙しいとは思いますが、せっかくリボンの色分けで参観しやすくして頂いていますので、各競技の始まる前に一度見回ってお声がけして頂けたらな、と思いました。

表現運動の際、校舎側で見ていたらずっと背中姿しか見れず、保護者たちがのぼり棒のほうに集中して、しかも背の高いお父様方が前に立たれていて背の低い女性は全然見えないので背中側に回るしかないという点が残念だった。

開会式〜ジンギスカンの時、来賓席後部にいたオレンジのビブスを着た方達には後ろを配慮して座って欲しかったです。場所によっては子供の位置とかぶり、かなり見にくかったです。

- A 優先(撮影)エリアについて競技が始まる前後にアナウンスは毎回していました。学校の努力としては、これ以上の周知、徹底は難しいところです。そこでまず、保護者の中にはルール違反をする方、ルールを理解しないまま参観する方がいるという事実を知っていただき、その保護者に対して、良識ある保護者が「今の競技における学年リボンの色が違っていますよ。」とアサーティブに伝えていただく風土を作っていければと思います。**
保護者間での背の低さ、高さによる参観の配慮も学校から申し上げる類のことではなく、こちらに関しても保護者同士で円満に話し合うしかないことと考えます。
来賓席後部にいたオレンジのビブスを着た方達は、来賓接待という役割がございますので、後ろに配慮して座ることは基本的にお約束できません。

- Q20 5年生の係の人の席について、子供が当日の朝に椅子を置く場所を聞いたとのことで、6年生側に座っていたようです。親はそうとも知らずにずっと5年生の席を探していたので、今後はどこに座るかを事前に係の子供たちに知らせておいてほしい。

- A 児童の参観席に関しては、概ね事前に決まっておりますが、今回のように仕事や役割を受けもつ高学年児童の参観席が前日準備で変更になることがありますことをご理解ください。学校はお子様が競技に参加している際の位置はご連絡しております。本来は、それすら、労力がかかっているところですが、さらに待機している児童席まで、お知らせしてほしいというのは、学校が果たす説明責任から放れていると考えます。例えば児童席をお知らせしなかったとしても、またお子様から聞いていた児童席の場所ではなかったとしても、長時間、お子様は児童席にいるわけですから、当日お探しに見つけていただくことは、難しくないと考えます。**

Q21 外の路上（校庭に面した北側の通路）でタバコを吸っている親がいた。子供が見ている可能性が高い中で路上喫煙は非常識。

リボンを持っていない人達が北門を開けて出入りしていた。防犯上も良くないので人を配置するべきだと思う。

A 改めて、学校の敷地に接する道路での喫煙は、東京都迷惑防止条例、健康増進法の違反となりますことをお伝えします。

また、次年度から児童が登校した後は、北門を施錠して人の出入りができないようにします。

Q22 当日、昨年度の卒業生（昨年の6年生）が運動会を見に来ていたのですが、学校側に確認したところ、ご兄弟がおらずリボンをお持ちでない場合は見学できないとのことで、お帰りいただいております。しょんぼりと帰っていく姿を見ながら、せっかく母校を訪れる貴重な機会を楽しみにしていた子供たちの気持ちを思うと、少し切ない気持ちになりました。

昨今是不審者対応などの観点から、入校管理が厳しくなるのも十分理解しておりますが、もし可能であれば、卒業生（特に中学生）に限り、見学できる仕組みを設けていただけたら大変ありがたいと存じます。

たとえば、事前にお名前を記入していただき、別の色のリボンや名前シールを着用してもらう等の対応を検討いただけますと幸いです。

A 卒業生の参観に関しては、今年度同様、遠慮していただきます。事前にお名前を記入していただいたとしても、卒業生と識別することに労力と難しさがあるからです。識別するために過去に在籍した名簿を活用してはと思うかもしれませんが、その作成年度の範囲も広範囲になり労力がかかります。昨年度の卒業生と限定すれば、名簿の範囲も狭くなりますが、そこに限定する根拠がありません。そして不審者への対応が甘いと判断する保護者の方もいるということをご承知おきください。

1月の行事予定

1	木		17	土	
2	金		18	日	
3	土		19	月	安全指導、ユニセフ募金、身体計測(2年)、委員会、校内書初め展始
4	日		20	火	A5(3～5年)、たてわり班、ユニセフ募金、避難訓練、本町っ子タイム⑨、旧タブレット回収(5・6年)
5	月		21	水	B5、音楽朝会、身体計測(1年)、旧タブレット回収(3・4年)、なわとびタイム終
6	火		22	木	A5、たてわり班、旧タブレット回収(1・2年)
7	水	冬季休業日終	23	金	家読、校内書初め展終、ステップアップ(2年)
8	木	C4、始業式、給食なし	24	土	
9	金	A4(1年)、給食始、身体計測(6年)、家読	25	日	
10	土		26	月	A5(6年)、パナマ大使館交流
11	日		27	火	B時程、A5(3年)、クラブ活動、ステップアップ(1年)
12	月	成人の日	28	水	英語スピーチコンクール参観(6年 下校15:10)、ステップアップ(5年)
13	火	全校朝会、身体計測(5年)	29	木	午前授業
14	水	B時程、ユニセフ集会、身体計測(4年)、なわとびタイム始	30	金	A5、研究発表会
15	木	ふれあい開放、ステップアップ(3・4・6年)	31	土	
16	金	B5(1・2年)、B6(3～6年)、ユニセフ募金、身体計測(3年)、下校指導、市児童作品展(～18日まで)			

1月の生活目標

「あいさつをしよう」「時間を守ろう」

本町小学校には、元気にあいさつができる児童がたくさんいます。ですが、一方であいさつをされても返せない児童や目を合わさずにあいさつをしてしまう児童もいます。1月は新年の始まりでもありますので、気持ちのいいあいさつができるとよいですね。教職員も子供たちと一緒にあいさつし、あいさつが溢れる本町小学校を目指します。

「時間を守ろう」では、特に朝の登校時刻や授業の始業時間を守り、日々の学校生活を過ごすことのできるよう指導していきます。ご家庭のご協力もどうぞよろしくお願いいたします。

1月の安全目標

「冬の日の安全な登下校」

寒さが厳しい季節ですが、ポケットに手を入れて歩かないこと、雪や雨の場合は、車がスリップすること考えられるので、道路の端を通り、安全に気を付けることを特に指導していきます。通学路を守り、安全に登下校できるよう、ご家庭でも言葉掛けください。

西東京市児童作品展

1月16日(金)から18日(日)まで、西東京市南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」にて児童作品展が開催されます。各学年の代表者が図工・書写作品を出品します。西東京市内すべての小学校の作品が展示されますので、様々な作品が鑑賞できます。田無方面にお出かけの際は、どうぞお立ち寄り下さい。よろしくお願いいたします。

1月16日(金) 17:30～19:00

1月17日(土)、18日(日) 9:10～16:50

※受付は終了時刻30分前ですので、ご注意ください。

書き初め展について

日本の伝統行事、「書き初め」。その起源は古く、平安時代にまでさかのぼります。一年間の抱負や目標を定め、字の上達を祈願する、という意味があるそうです。

低学年は硬筆を用いて、「姿勢、鉛筆の持ち方、集中力」を大切に、お手本をよく見ながら、一字一字に心をこめて、一生懸命練習しました。

中学年・高学年は毛筆を用いて、大きな書き初め用紙に書きました。筆に墨汁をつけ、半紙に向かう緊張感を味わいながら、大きく伸び伸びと書くように努力しました。

19日から23日まで、席書会で書いた作品を校内に展示します。保護者の方々は期間中、15:30～16:30の時間、校内にお入りいただき、鑑賞していただけます。全校児童の作品が一斉に展示されることは、お子様にとって、同学年の友達だけでなく他学年の人たちの作品を鑑賞し、自分の作品を見直す良い機会となります。保護者の皆様にも、是非学校に足を運んでいただき、お子様の成長をご覧くださいますようお願いいたします。

